

6

26(水)

販売開始!

米粉入りかまぼこ

こめぼこ

- プチ揚げなのでおやつやお弁当にも最適。
- トースターやフライパンなどでさっと炙れば、より米粉の風味が引き立ちます!



プレーン3個、コーン入3個

完全
無添加

国産米粉
を使用

もっちり
とした
食感

お米の
優しい風味

こめぼこは、宮城水産高校が開発し、震災後に石巻北高校との交流事業を開始。さらに石巻専修大学、楽天野球団、石巻信用金庫、高橋徳治商店の「高校・大学・企業」が連携した「こめぼこ商品化プロジェクト」により商品化を実現。高橋徳治商店協力のもと、令和元年6月26日の石巻北高校の「とらまい」より一般販売を開始します。

※次回販売は7月3日の「とらまい」



宮城県水産高等学校



宮城県石巻北高等学校



石巻専修大学

創業明治三十八年



高橋徳治商店

■こめぼこ商品化プロジェクト

きっかけは、震災後。被災した宮城水産高校は、石巻北高校の敷地内に建つ仮設校舎で授業を再開しました。

水産と農業、分野は違うものの、同じ「食」について学ぶ生徒たち。震災以前に水産高校が開発した米粉入り蒲鉾「こめぼこ」を、このときの共同実習で行われた米作りを通じて、それぞれのノウハウを活かし改良に挑みました。それから7年の歳月が経ち、石巻専修大学の協力のもと「こめぼこ商品化プロジェクト」が開始され、仙台市にあるかまぼこメーカーと製品化まで実現。商品を通じて被災地を活気づけたいとの声があがり、平成30年度からは、石巻信用金庫のコーディネートのもと震災以前石巻に工場を構えていた高橋徳治商店とともに、新たな「こめぼこ」の開発がスタート。試作を重ね、生徒たちと高橋徳治商店のこだわりが詰った「素材の味がいきたこめぼこ」が誕生しました。



石巻市民球場で行われた楽天イーグルスファーム公式戦で高校生と大学生が「こめぼこ」を販売

■高橋徳治商店（高橋社長の思い）

「若いひとたちに伝えたい。震災時当時幼かった彼らが、どれだけ思いをしたか、自分たちがいる場所の意味をよく考え、震災をきっかけに生まれたこの商品に、どんな価値や力があるのか…。私たちと地元の高校生たちが出会い、彼らが開発した「こめぼこ」作りを請け負ったからには、一時的なもので終わらないように、未来へ繋げていきたい。開発に携わった学生たちと、支援を頂いた多くのひとたちに、たくさんのメッセージがこもったこの商品を届けることで、震災を経た“わたしたちの今”を知ってもらえればと思います。」
地域と共に生まれたこの「こめぼこ」を、新たな復興の力となるよう、想いを込めてお届けします。



(中央) 高橋徳治商店 高橋 英雄 社長

■令和元年度のプロジェクトの取り組み

令和元年度は、高橋徳治商店による商品化の実現を踏まえ「こめぼこ」のブランド化を目指し取り組んでいきます。今後の販売は、7月3日（水）とらまい、9月8日（日）石巻市民球場で開催する楽天イーグルスファーム戦のほか、高校の文化祭、大学祭、地域のイベントなど予定しています。

【プロジェクトに関する問い合わせ先】

石巻専修大学 経営学部 杉田 博 教授 電話 0225-22-7716

【商品に関する問い合わせ先】 株式会社高橋徳治商店

東松島市大塩緑ヶ丘四丁目16 電話 0225-98-8485